

対象年齢14歳以上

**UdiRC**<sup>®</sup>

# ナビゲーター W

120°広角720P HD WIFIカメラ装備



## U31W

## 操作ガイド

# カタログ

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 重要事項の説明 .....            | 3  |
| 安全上の注意 .....             | 3  |
| ドローンバッテリーに関する安全メモ .....  | 4  |
| ドローンバッテリー充電ガイド .....     | 5  |
| 飛行前のチェックリスト .....        | 5  |
| ドローンおよびトランスミッタのガイド ..... | 6  |
| 飛行前の操作ガイド .....          | 10 |
| 機能の説明 .....              | 13 |
| アプリについて .....            | 16 |
| スペアパーツ取付ガイド .....        | 22 |
| スペアパーツ .....             | 24 |
| トラブルシューティングガイド .....     | 26 |

# 重要事項の説明

UDIRCの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この商品の14歳未満のお子様によるご使用はご遠慮ください。商品をご使用になる前に、この冊子をよくお読みください。ドローンを飛行させると、本マニュアルの内容を承諾されたものとみなされます。

この商品は一般的な玩具とは異なり、機械、電子、航空整備、高周波放射などに関する専門的な知識が統合されている複雑な装置です。この商品および関連アプリをご使用の際には、使用者が責任を持って操作する必要があります。ドローンおよび関連アプリは合法的な目的にのみ使用されねばなりません。このドローンのご購入により、使用者は上述の規則の遵守に同意したものとし、地方自治体の法律の制限内で行動するものとします。

弊社は商品販売後の環境、違法行為、不適切な操作、またドローンの修理により生じる事故について、一切責任を負いません。

技術的支援および販売後のアフターサービスの提供は、代理店に委託しています。使用、操作、修理などに関するご質問は、お近くの代理店にお問合せください。

\* 同梱のスペアパーツのみを使用するか、交換用に純正品のUDIRCアクセサリをお買い求めください。それ以外の行動を取られた場合、弊社UDIRCでは一切責任を負いません。

\* 梱包およびマニュアルは後で参照するために保存しておいてください。

## 安全上の注意

このドローンは14歳以上の経験豊富なRCドローン使用者に適しています。この商品には小さなパーツが含まれているため、お子様の手の届かない所に保管してください。

### (1) 飛行エリア

飛行場所は地方自治体により法的に承認された場所でなければなりません。空港の側でドローンを飛行させてはいけません。RCドローンを飛行させる場合は、空港から5Km以上距離の離れた場所で行ってください。飛行場所は十分に広くなければなりません。最低8M（長さ）\*8M（幅）\*5M（高度）を推奨しています。

### (2) 正しく使用する

不適切な組立てや破損したメインフレーム、欠陥のある電子機器、またスキル不足な操作は、そのどれもがドローンの破損や人的被害などの不測の事故につながる場合があります。安全操作には特に注意を払い、事故を防ぐために使用者の責任について十分な知識を身に付けてください。

### (3) 障害物や人混みを避ける

飛行中のRCドローンの速度や状態は不確定なものであり、危険性をはらんでいる可能性があります。そこで、使用者は飛行中のRCドローンを操作する場合に、人混みや高い建物、電線などを避けてください。使用者やその周囲にいる人々、またその資産の安全のために、雨や嵐、雷、また稲妻の発生している天候ではRCドローンを飛行させてはいけません。

#### (4) 濡れた環境を避ける

ドローンの内部は精密な電子コンポーネントから構成されています。湿気や水蒸気は電子コンポーネントを傷め、また事故の原因になる場合があります。

#### (5) 安全な操作

RCドローンの操作は、使用者の身体の状態や飛行スキルに基づいて行ってください。疲労、倦怠感、および不適切な操作により事故率が高くなる場合があります。

#### (6) 回転中のパーツから離れる

回転中のパーツは重大な怪我や損害の原因となる場合があります。顔や体を回転中のモーターに近づけないでください。

#### (7) 熱を遠ざける

RCドローンは金属、繊維、プラスチック、電子コンポーネントなどからできています。歪みや破損を避けるために、熱や日光から遠ざけてください。

(8) ドローンは最大コントロール距離内でコントロールしなければなりません。ドローンは背の高い建物や高圧電線の近く、また信号干渉が起きる場所で飛行させてはいけません。このような場所では信号が遮断され、ドローンのコントロールが効かなくなり、結果的に事故につながる場合があります。

(9) やけどを避けるため、熱くなったモーターに素手で触れないでください。

(10) 推奨の充電器のみを使用してください。RCドローンのお手入れをする前に電源をお切りください。USBケーブルや充電プラグなどを定期的にチェックして、正しく動作していることを確認してください。少しでも破損がある場合は、修理または交換が行われるまで、直ちに使用を停止してください。

## ドローンバッテリーに関する安全メモ

\* 破損または爆発を防ぐために、バッテリーを火の側や熱を発生する端末など、温度の高い場所に置かないでください。

\* バッテリーで硬い表面を叩かないでください。

\* バッテリーを水に濡らさず、乾いた場所で保管してください。

\* バッテリーを分解しないでください。

\* 充電中は、誰も見ていないままバッテリーを放置しないでください。

\* 電源コードにショートがないことを確認してください。

\* 推奨の充電器のみを使用してください。

\* 充電器のコードやプラグの表面を定期的にチェックしてください。壊れている充電器は使用しないでください。

\* ドローンを1週間以上飛行させる場合は、性能と寿命を維持するために、ドローンバッテリーを約50%の出力に保持してください。

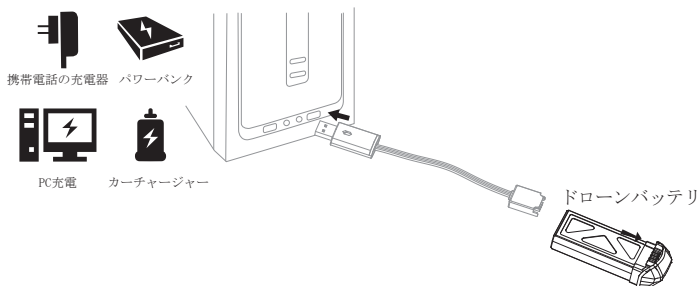


# ドローンバッテリー充電ガイド

1. 先にドローンバッテリーをUSBケーブルに接続し、次に下の図からいずれかの方法を1つ選んでUSBプラグで接続します。

2. 充電中は赤いUSBインジケータライトが明るく点灯し、完全に充電されるとライトが緑色に変わります。

\* 素早く充電するには、バッテリーの充電に5V 2A出力電流のアダプタ（別売）のご使用をお勧めします。





**Li-Poバッテリーの廃棄&リサイクル**  
廃棄されるリチウムポリマーバッテリーは、ご家庭用のごみと一緒に置いてはいけません。地方自治体の環境課または廃棄物処理機関、もしくはご使用のモデルのサプライヤまたはお近くのLi-Poバッテリーリサイクルセンターにお問合せください。

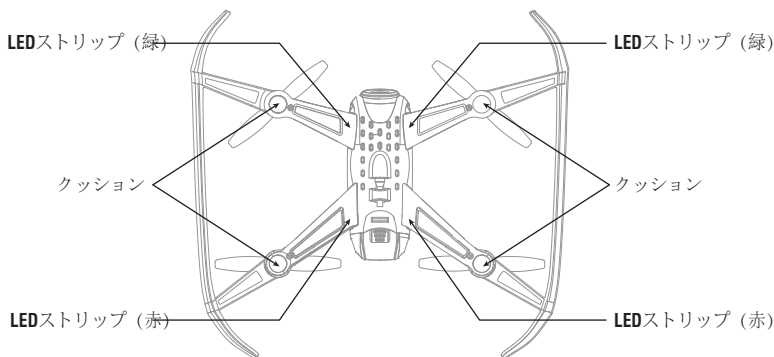
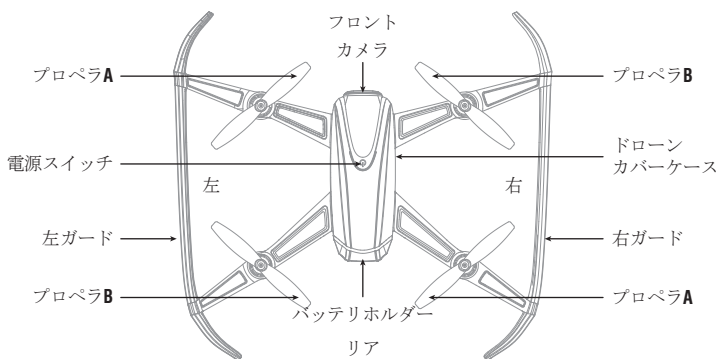


## 飛行前のチェックリスト

1. ドローンバッテリーおよびトランスミッタのバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
2. トランスミッタの左スティックが中央の位置にあることを確認してください。
3. 操作する前に、オン・オフの順番に厳密に従ってください。まずトランスミッタの電源をオンにし、次に飛行前にドローンの電源をオンにします。オフに切り替える場合は、先にドローンの電源をオフにしてからトランスミッタの電源をオフにします。オン・オフの操作が正しくないと、ドローンのコントロールが効かなくなり、人々の安全が脅かされることになります。オン・オフの正しい習慣を身に付けてください。
4. バッテリーとモーターなどの間の接続が確実であることを確認してください。振動が続くと電源ターミナル間の接続が悪くなり、ドローンのコントロールが効かなくなる恐れがあります。
5. 不適切な操作によりドローンがたびたびクラッシュすることがあり、その結果モーターの欠陥やノイズの発生が起き、その後飛行能力に影響が出たり、飛行が停止したりすることがあります。ドローンが最良な状態に戻るよう、お近くの代理店で交換用の新しいパーツをお求めください。

# ドローンおよびトランスミッタのガイド

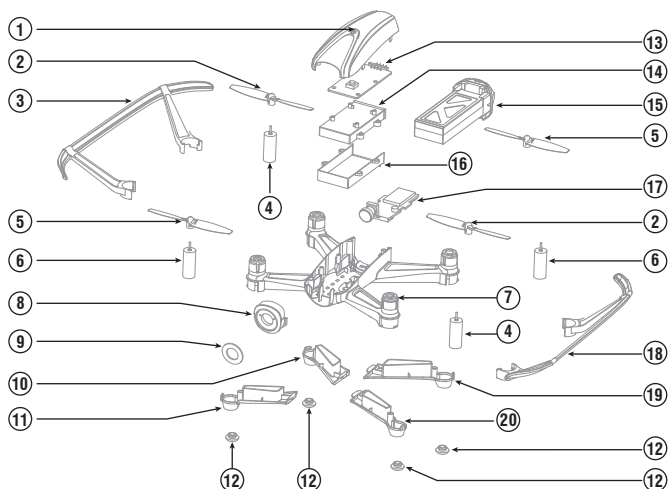
## ドローン



## 仕様

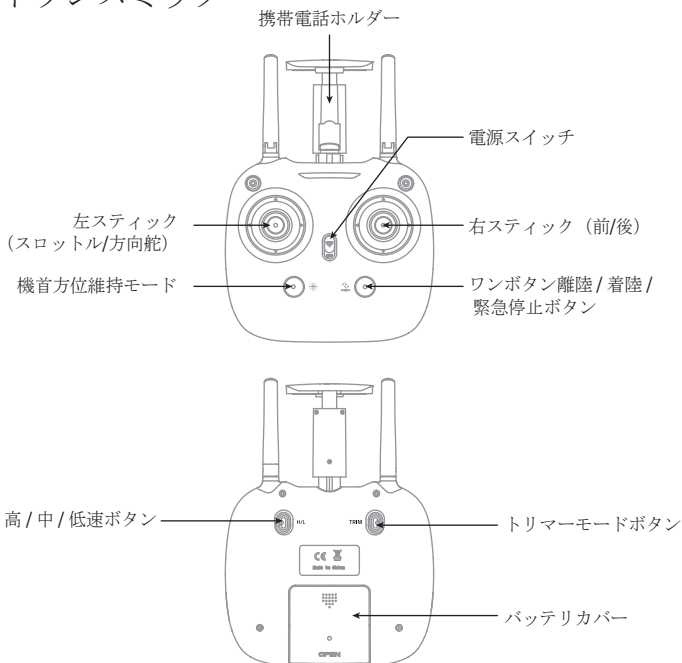
|          |                    |                |              |
|----------|--------------------|----------------|--------------|
| ドローンのサイズ | 198.5x183.2x42.8mm | ドローンバッテリー      | 3.7x2 350mAh |
| 飛行時重量    | 85g                | ドローンバッテリーの充電時間 | 60mins       |
| プロペラの直径  | 66mm               | 最長飛行距離/半径      | 80m          |
| 飛行時間     | 5.5~6.5mins        | ストリーミング動画レンジ   | 30m          |
| 周波数      | 2.4Ghz             | カメラの解像度        | 1280x720P    |
| 主モニター    | 8520x4             |                |              |

# 拡大図



| 番号 | 名称               | 番号 | 名称          |
|----|------------------|----|-------------|
| 1  | ドローンカバーケース       | 11 | 右フロントLEDフード |
| 2  | プロペラA (右回り)      | 12 | クッション       |
| 3  | 右ガード             | 13 | 受信機ボード      |
| 4  | 右回りモーター (赤いコネクタ) | 14 | バッテリー上部ホルダー |
| 5  | プロペラB (左回り)      | 15 | ドローンバッテリー   |
| 6  | 左回りモーター (白いコネクタ) | 16 | バッテリー下部ホルダー |
| 7  | ドローンボトムケース       | 17 | カメラボード      |
| 8  | カメラヘッドカバー        | 18 | 左ガード        |
| 9  | レンズ              | 19 | 左リアLEDフード   |
| 10 | 右リアLEDフード        | 20 | 左フロントLEDフード |
|    |                  |    |             |

# トランスミッタ

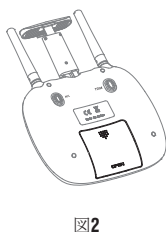
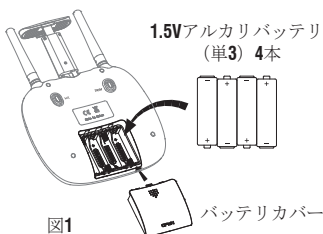


## ボタン機能の簡単な説明

|               |                                                                                                   |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 左スティック        | スティックを前/後/左/右に動かすと、それぞれドローンが上/下/左旋回/右旋回して飛行します。                                                   |
| 右スティック        | スティックを前/後/左/右に動かすと、それぞれドローンが前/後/左/右に飛行します。                                                        |
| 電源スイッチ        | 電源スイッチを押し上げるとトランスミッタの電源が入り、引き下げると電源が切れます。                                                         |
| 機首方位維持モード     | ボタンを押すと機首方位維持モードになり、もう一度押すと機首方位維持モードを終了します。                                                       |
| 高/中/低速ボタン     | このボタンを押し下げると高/中/低速になります。                                                                          |
| 離陸/着陸/緊急停止ボタン | このボタンを押すとドローンは自動的に飛び上がります。もう一度ボタンを押すと、ドローンが自動的に地面に着陸します。ボタンを1秒以上押したままにすると、プロペラが停止してドローンは直ちに落下します。 |
| トリマーモードボタン    | このボタンを押し下げ、右スティックを必要なトリミング方向に移動させます。すると、それに応じて方向が調節され、スティックを緩めると、トリマーモードが終了します。                   |

## バッテリーの装填

トランスミッタの背面にあるバッテリーカバーを開け、図1および図2のようにアルカリバッテリー4本（単3、別売）を電極のガイドに従って穴に装填します。

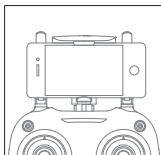
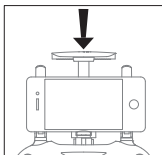
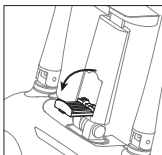
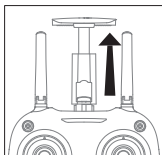


メモ:

1. 電極が正しいことを確認してください。
2. 新しいバッテリーと古いバッテリーを混ぜないでください。
3. 違う種類のバッテリーを混ぜないでください。
4. 充電式ではないバッテリーに充電しないでください。

## 携帯電話の取付ガイド:

1. 携帯電話ホルダー（図3）を引き上げ、下側のクランプを開き、上側のホルダーを携帯電話がしっかりと収まる位置まで引きます（図4）。
2. 携帯電話をホルダーに入れ、携帯電話がしっかりと保持される場所でクランプを離します（図5および6）。



# 飛行前の操作ガイド

## 周波数ペアリング

1. トランスミッタのスイッチを入ると（図7）、電源インジケータのライトが素早く点滅し始めます。左スティックを一番下の位置まで引き下げてから離します。左スティックは自動的に中央の位置に戻ります。

図8/9 電源インジケータのライトがゆっくりと点滅し始め、トランスミッタの周波数ペアリングの準備ができたことが分かります。

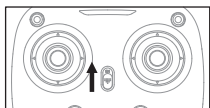


図7

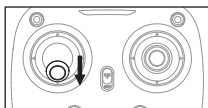


図8

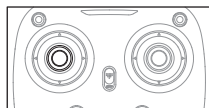


図9

2. リチウムポリマーバッテリーをドローンに取り付け（図10）、ドローンの電源を入れます（図11）。（約2秒間押します）

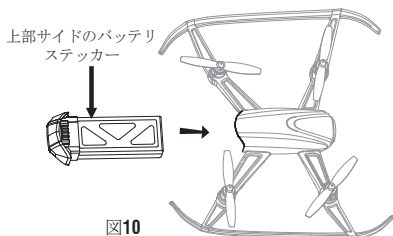


図10

ドローンの電源スイッチ

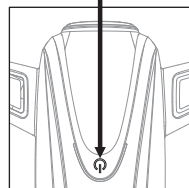


図11

3. ドローンを平らな場所に置くと、ドローン本体のライトが点滅を停止し、明るく点灯したままになり、周波数ペアリングが成功したことが分かります。

重要なメモ: ドローンの電源を入れた後は、必ずドローンを水平な場所に置き、ドローンが正常に動作できるようにしてください。

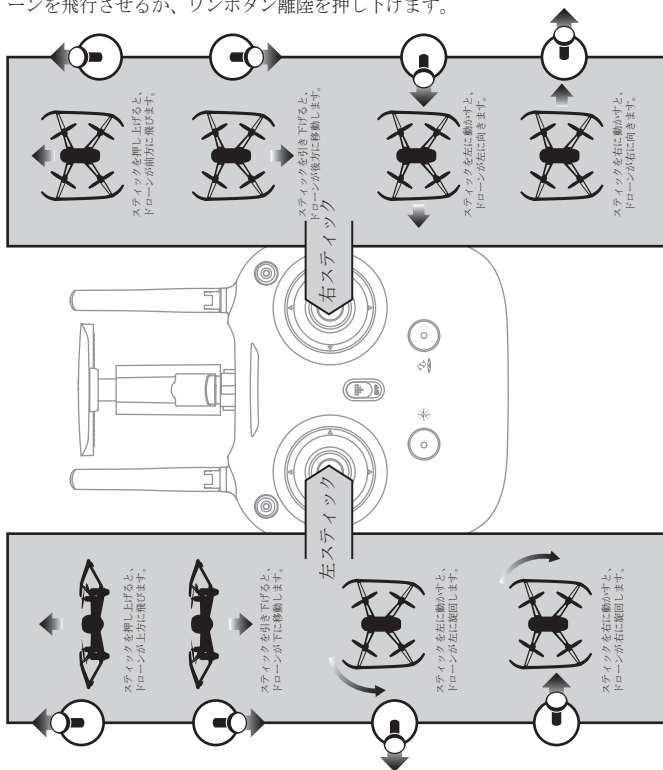
## 飛行前のチェックリスト

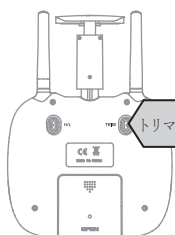
1. カメラはフロント側にあります。ドローンのフロント側が使用者の方に向かないように維持してください。
2. ドローンの電源を入れ、回転プロペラの方向をチェックします。左フロントおよび右リアのプロペラAは右回り、右フロントおよび左リアのプロペラBは左回りで。
3. モーターを始動する（アンロック）：図16のように、左右のスティックを同時に動かすと（45度内側に）モーターが始動し、同じプロセスを繰り返すとモーターがロックされます。



# 飛行コントロール

メモ：毎回ドローンを飛行させる前に、図16のように左右のスティックを同時に動かして（45度内側に）モーターを始動させます。左スティックをゆっくりと押し上げてドローンを飛行させるか、ワンボタン離陸を押し下げます。





**前後トリマー**  
飛行時に、ドローンが前方に傾く場合は、トリマーボタンを押し下げて右スティックを後方に押してください。後方に傾く場合は、前方に押してください。

---

**左右両サイドの飛行トリマー**  
飛行時に、ドローンが左に傾く場合は、トリマーボタンを押し下げて右スティックを右後方に押してください。左に傾く場合は、左後方に押してください。

---

**左右旋回トリマー**  
飛行時に、ドローンのヘッドが左に旋回する場合は、トリマーボタンを押し下げて左スティックを右に押します。右に旋回する場所は、左に押します。

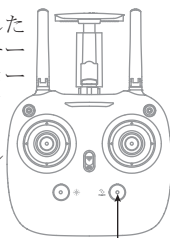


# 機能の説明

## 離陸 / ワンボタン離陸 / 着陸モード

1. メソッド1（離陸）：周波数ペアリングが成功したら、図12のように左右のスティックを押し下げてモーターを始動してから両スティックを離します。ドローンを一定の高度まで飛行させるには、左スティックを押し上げてから離します。

2. メソッド2（ワンボタン離陸）：周波数ペアリングが成功したら、あるいはモーターが始動したら、離陸 / 着陸 / 緊急停止ボタン（図16）を押すと、ドローンが自動的に飛び上がり、約1.2メートルの高さで飛び続けます。



離陸/着陸/  
緊急停止ボタン  
図16

## 着陸方法

1. メソッド1（着陸）：飛行時に、左スティックを一番下の位置まで押し下げ（図13）、モーターが停止するまで長押しすると、ドローンがゆっくりと地面に着陸します。

2. メソッド2（ワンボタン着陸）：飛行時に、離陸 / 着陸 / 緊急停止ボタンを一回押すと（図16）、ドローンが自動的に地面に着陸します。

（この機能を使用する場合は、左スティックを「使わないでください」。正常に機能しなくなります）

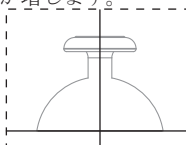
▲緊急停止：ドローンが人や障害物などにぶつかりそうになるなどの緊急事態の場合、離陸 / 着陸 / 緊急停止ボタンを直ちに押して1秒以上長押しすると（図16）、プロペラが直ぐに停止します。

ヒント：緊急事態が発生していない時に緊急停止機能を使用しないでください。プロペラが全て停止するとドローンはその瞬間に落下します。

## 高度維持モード

高度維持モードでは、回転、ピッチ、ヨーイングを通常通り操作しながら、ドローンの一定の高度に保つことができます。初心者の方にはドローンを大変操作し易くなり、空撮時の安定感が増します。

左スティックを上（下）に押すとドローンが一定の高度に上昇（下降）飛行しますので、スティックを離します。スティックは図17のように中央の位置に戻ります。別の高度に変更するために上述のステップがもう一度行われるまで、ドローンは特定の高度のまま飛行し続けます（デフォルトモード）。図17



高度保持センター

## 高/中/低速モードスイッチ

下図に示すようにボタンを押下げると「ディ」という音が鳴り、低速モードが始動したことを知らせます。「ディ・ディ」または「ディ・ディ・ディ」という音が鳴ると、それぞれ中速または高速モードが始動したことを意味します。

低速モード（モード1）

1. 低速モードは初心者向けです。

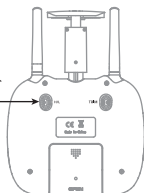
中速モード（モード2）

2. 中速モードは熟練したパイロットが通常の風で飛行させるのに適しています。

高速モード（モード3）

3. 高速モードはエキスパートが屋外で航空スタントを実施するのに適しています。

高/中/低速モード  
スイッチ（押下）



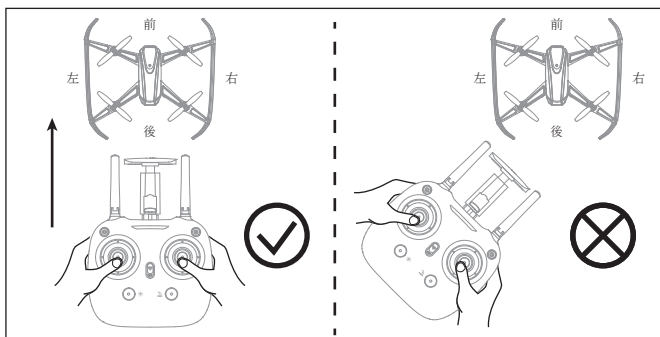
## ヘッドレスモード

ドローンの前後の位置は一般にLEDライトまたは色付きのプロペラによって分かります。規定により、使用者は飛行事にドローンの前後を識別できるようにしなければなりません。しかし、ヘッドレスモードの場合、使用者は方向を考慮することなくドローン进行操作できます（ドローンのヘッドが向いている方向に関係なく、常に左が左、右が右になります）。このモードは初心者、およびドローンを日中飛行させる方、あるいはドローンの向きの識別が難しい遠距離で飛行させる方に向いています。

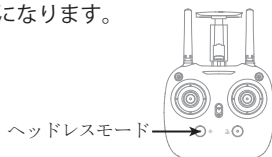
デフォルト設定はヘッドレスモードではありません。

ヘッドレスモードは離陸前、あるいは飛行中に始動することができます。ヘッドレスモードで飛行させる場合、ドローンの前方向が使用者の前方向になることを確認しなければなりません。トランスミッタの「方向を変えず」に、常に使用者の前になければなりません（下図参照）。

警告：ドローンの前方が使用者の前方であることを確認するまでは、ヘッドレスモードを使用してはいけません。そうしないと、コントロールが失われ、ドローンが飛び去ってしまう可能性があります。



\* ヘッドレスモードボタンを押し下げると、ドローンの左右のLEDが交互に点滅し初めて、ドローンがヘッドレスモードになったことが分かります。もう一度ボタンを押すと、ドローンのヘッドレスモードが終了するため、LEDが点灯したままになります。



## バッテリー残量低下の警告

ドローンバッテリーの残量が少なくなると、トランスミッタから継続的なビープ音を送られて、使用者にできるだけ速やかにドローンを着陸させるよう促します。

トランスミッタのバッテリーの残量が少なくなると、トランスミッタが継続的にビープ音を発し、使用者にできるだけ速やかにドローンを着陸させてバッテリーを交換するよう促します。そうしないと、ドローンのコントロールが効かなくなることがあります。

## 範囲逸脱の警告

ドローンが最長リモコン距離を超えそうになると、トランスミッタが「ディディ...ディディ...ディディ...」と連続してビープ音を鳴らし、使用者に直ちにドローンを操作範囲に戻すように警告します。戻さないとドローンが飛び去ってしまう危険性があります。

## モーターのスタック防止

1. プロペラが絡まる/スタックすると、ドローンのLEDが高速で点滅し、スタック防止機能が働き、モーターは動作を停止します。
2. スタック防止を無効にするには、左スティックを一番下の位置まで引き下げると、ドローンのLEDが点灯したままになり、再びドローンを飛行させることができます。

# アプリについて

アプリをダウンロードしてインストールします: Flyingsee

このアプリはiOSおよびAndroid システムの携帯電話に適しています。

携帯電話のソフトウェア・ストアからダウンロードしてください:

1. iOSシステムの携帯電話の場合は、APP StoreでFlyingseeを検索してください。
2. Androidシステムの携帯電話の場合は、Google PlayでFlyingseeを検索してください。
3. 下のQRコードをスキャンしてFlyingseeアプリをダウンロードしてください。



## 携帯電話とドローンのWiFiとの間の周波数ペアリング

1. リチウムポリマーバッテリーをドローンに装填し、ドローンの電源を入れます。ドローンを平らな表面に水平になるように置きます。
2. 携帯電話の設定に移動し、WiFi (WLAN) をオンにしてudirc-\*\*\*を選択し、正常に接続できたらホームスクリーンに戻ります。
3. Flyingseeのアイコンをクリックし、◀▶をクリックしてリモコン・インターフェイスに入り、リアルタイムのトランスミッションをお楽しみください。



Flyingsee



ホームページ



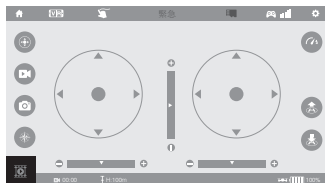
リアルタイム・トランスミッション・  
インターフェイス

アイコンをクリック



4. ⬇️ をクリックして「仮想コントロール」インターフェイスに入ります。この時、ドローンのLEDライトは点滅を停止して点灯したままになり、周波数ペアリングが成功したことを示します。これでドローンがアプリ経由で操作できる準備が整いました。

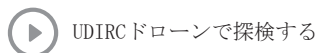
## 仮想コントロール・ インターフェイス



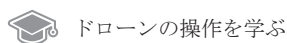
重要なヒント：ドローンが正しく動作するように、ドローンを平たい表面に並行に置かれていることを確認してください。そうしないと、ドローンのコントロールが難しくなることがあります。

## アプリのアイコンの紹介

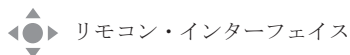
### ホームページ・アイコン



UDIRCドローンで探検する



ドローンの操作を学ぶ



リモコン・インターフェイス

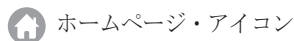


ヘルプ



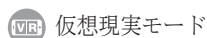
メディア

### リモコン・インターフェイス



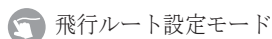
ホームページ・アイコン

アイコンをクリックするとホームページに戻ります。



仮想現実モード

アイコンをクリックすると、仮想現実モードに移動して、その人のビューを体験できます（VRヘッド装着時のみご利用いただけます）。もう一度アイコンをクリックすると仮想現実モードを終了します。



飛行ルート設定モード

このアイコンをクリックすると赤くなります。右のエリアに飛行ルートを描いてください。ドローンは描かれた飛行ルートに沿って飛行します。もう一度アイコンをクリックすると、飛行ルート設定モードを終了します。アイコンは白に変わります。

デフォルトではアイコンは赤になります。アイコンをクリックするとプロペラは直ちに停止します。ドローンは瞬時に地面に落下します。

ヒント：緊急事態でない限り、緊急停止機能を使用してはいけません。

### TFカード

TFカードがドローンのカメラに装填されていない場合は、が表示されます。TFカードが装填されている場合は、が表示されます。

### リモコンの信号

ドローンのWiFi信号の強度を示します。

### 設定

このアイコンをクリックすると次のようなパラメータの設定が行えます。もう一度クリックすると終了します。



「セーブ」をクリックするとトリミング設定が保存されます。

「リセット」を選択すると、工場出荷時にリセットされます。

「720P」のトランスミッション品質を選択します。

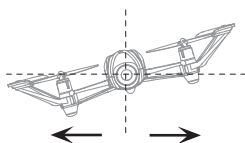
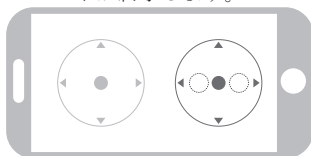
### リモコン

#### 仮想コントロールスティック

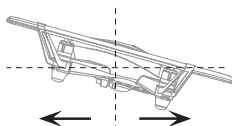
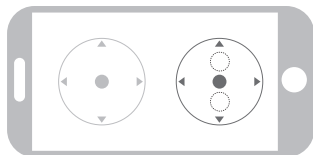
仮想コントロールスティックは規定では非表示になっています。アイコンをクリックすると仮想コントロールスティックがオンになります。

#### 重力誘導モード

このアイコンをクリックすると、重力誘導モードに移動します（左方飛行 / 右方飛行および前方飛行 / 後方飛行のみご利用いただけます）。もう一度アイコンをクリックすると、重力誘導コントロールモードが終了します。



携帯電話に左 / 右というタイトルが表示されている場合は、右側のボールがそれに従って動き、ドローンが左 / 右に飛行します。



携帯電話に前 / 後というタイトルが表示されている場合は、右側のボールがそれに従って前方 / 後方にロールし、ドローンが前方 / 後方に飛行します。

## 動画

このアイコンをクリックすると動画を録画します。録画時間は画面の下に表示されます。もう一度アイコンをクリックすると録画が終了します。

## 写真

このアイコンをクリックすると写真を撮影します。

## ヘッドレスモード

このアイコンをクリックすると赤くなり、ドローンがヘッドレスモードになります。もう一度クリックするとヘッドレスモードが終了し、アイコンは白くなります。

## メディア

このアイコンをクリックすると、航空動画や写真を表示または削除できます。矢印をクリックすると終了します。

## 高 / 低速モード

デフォルトで、ドローンは低速モード「低」になっています。「高」をクリックすると高速モードになります。

## ワンボタン離陸

このアイコンをクリックすると、まもなく赤に変わります。ドローンは自動的に飛び上がり、高度1.2メートルで飛行を続けます。

## ワンボタン着陸

このアイコンをクリックすると赤に変わり、ドローンはゆっくりと下に降りてきて地面に着陸します。全てのプロペラがこの時点で動きを停止します。

## H: 0.1m 高度維持アイコン

ドローンの高度位置を示します（校正レベルに従って）

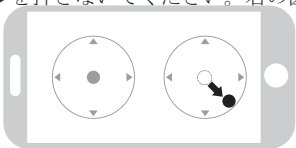
## 100% ドローンバッテリー・ステータス・アイコン

ドローンバッテリーの残量がおおよそ15%になると、携帯が振動し、使用者にバッテリーの残量低下を警告します。バッテリーを充電するためにドローンを帰還させてください。

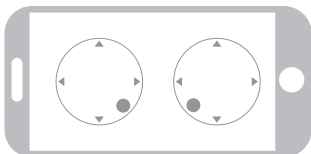
## アプリの校正ガイド

ドローンの操縦が難しくなった、あるいは浮遊が困難になった場合、再度ドローンを校正する必要があります。

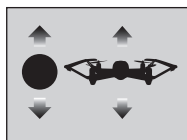
1. 「携帯電話とドローンのWiFiとの間の周波数ペアリング」を参照してください。
2. 校正が正常に終了するまで左ボールを押さないでください。右の図のように右ボールを動かしてください。ドローン本体前方のライトが点滅し始めたら、校正中であることを示しています。ドローンのライトが点灯したままになったら、校正が正常に終了し、ドローンが通常に飛行できる準備が整ったことを意味します。



## アプリの飛行コントロール



左右両方のボールを押さえて、それらを45度内側に押してモーターを始動するか（左図参照）、ワンボタン離陸を押してもモーターが始動します。



### 上下に飛行させる場合:

左ボールを上/下に動かすと、ドローンがそれぞれ上方/下方に飛行します。



### 左右に回転させる場合:

左ボールを左/右に動かすと、ドローンがそれぞれ左/右に回転します。

### ドローンが前後に傾く場合:

ドローンが前方に傾く場合は、前/後トリマーの“-”をクリックして、ドローンのバランスを調節してください。ドローンが後方に傾く場合は、前/後トリマーの“+”をクリックして、ドローンのバランスを調節してください。

左ボール

右ボール

### ドローンが左右に回転する場合:

ドローンが左に回転する場合は、回転トリマーの“+”をクリックして、ドローンのバランスを調節してください。ドローンが右に回転する場合は、“-”をクリックして、ドローンのバランスを調節してください。

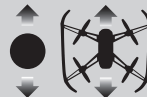
### ドローンが左右に傾く場合:

ドローンが左に傾く場合は、左/右トリマーの“+”をクリックして、バランスを調節してください。ドローンが右に傾く場合は、“-”をクリックして、ドローンのバランスを調節してください。



### 左または右に飛行させる場合:

右ボールを左/右に動かすと、ドローンがそれぞれ左/右に飛行します。



### 前後に飛行させる場合:

右ボールを上/下に動かすと、ドローンがそれぞれ上方/下方に飛行します。



1. WiFi信号が検出できない場合は、WiFi機能を一度オフにしてからもう一度オンにして、再度接続を試みてください。
2. ご利用いただけるWiFiコントロール半径/距離は40mです。ドローンはこの範囲で操作してください。
3. コントロールを携帯電話からトランスミッタに変更する場合は、トランスミッタの左スティックが中央の位置になってはなりません。または、そのままアプリを終了します。そうしないと、ドローンをコントロールできません。

メモ:

## 写真や動画を表示する



メインメニュー



### 写真や動画を見る方法



メディアインターフェイス

メモ: アプリが携帯電話のギャラリーにアクセスできるように承認する必要があります。未承認の場合、動画や写真の表示がご利用いただけない場合があります。

写真は携帯電話本体のギャラリーおよびTFカードに保存されます。動画はTFカードのみに保存されます。そこで、動画を携帯電話で再生するためには、動画を携帯電話にダウンロードする必要があります。アプリの指示に従って動画をダウンロードしてください。

## 写真撮影および動画の録画

1. 図18のようにTFカードをスロットに差し込みます。図18のように必ずカードの金属の面を上向きにしてください。

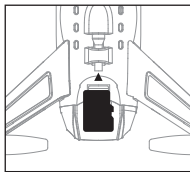


図18

2. 航空写真は携帯電話とTFカードの両方に保存されますが、動画はTFカードのみに保存されます。さらに、動画は携帯電話がドローンのWiFiおよびTFカードに接続されている場合にのみ、TFカードから携帯電話にダウンロードすることができます。

ヒント：録画を終了する時に動画を保存するには動画アイコンをクリックします。押さないと動画が保存されません。

3. 航空写真の撮影が終了したら、先にドローンの電源を切ります。カードを取り出してカードリーダーに差し込みます。カードリーダーをPCのUSBポートに接続します。しばらくすると、「マイコンピュータ > モバイルディスク」から航空写真をご覧いただけます。

ヒント：メディアのソフトウェアがAVIフォーマットをサポートしていることを確認するために、すべての航空写真データをPCにコピーしてから動画を再生するようにしてください。

航空カメラのための基本パラメータ： 動画DPI 1280\*720P、  
画像サイズ 1280\*720P

## スペアパーツ取付ガイド

### プロペラの取付図

1. 新しいプロペラを取り付けるために分解するには、プロペラとモーターの間にレバーを差し込み（図19）、そのまま押し下げます。プロペラが外れたら、垂直方向に引き上げます（図20/21）。

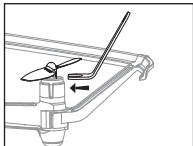


図19

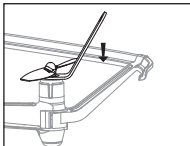


図20

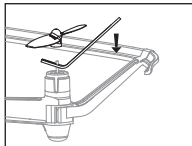


図21

2. 組み立てる時は、プロペラをモーターシャフトの上の穴に合わせて置き、プロペラを押し下げてしっかりと取り付けます(図22)。取り付けたプロペラはモーターケースの表面に接していなければなりません(図23)。(プロペラはそれぞれの回転方向に従って正しく取り付けられていることを確認してください。)

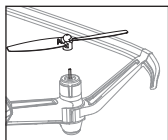


図22

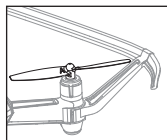


図23

## モーターの交換図

1. 上の図19/20/21に従って分解する時は、プロペラを外し、モーターホルダーのネジを緩めて取り外し(図25)、モーターホルダーを引き出して、モーターのコネクタプラグを外してからモーターを取り外します。

2. 組み立て直す時は、必要なモーターコネクタをモーターソケットに差し込み(図24)、図のようにモーターを保護ホルダー内に置いて(図25)、ネジを締めます(図26)。最後に、前述のようにプロペラを再び取り付けます。

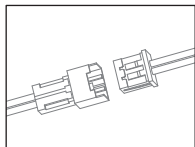


図24

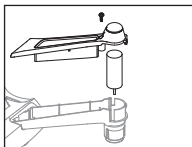


図25

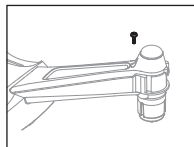


図26

メモ: モーターの回転方向は同じでなければなりません。反対に取り付けると動作しません。

## バッテリーの取付図

バッテリーの取付/交換の場合は、バッテリーのバックル部を押して摘み、バッテリーを引き出します(図27)。新しいバッテリーをピッタリと内側に固定されるようにスロットの中に置きます。

メモ: 取り付ける時は、リチウムポリマーバッテリーのステッカーが上側に付いていることを確認してください。バッテリーが正しく装填されていることが分かります。

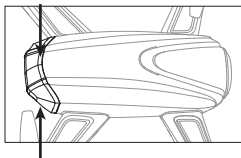
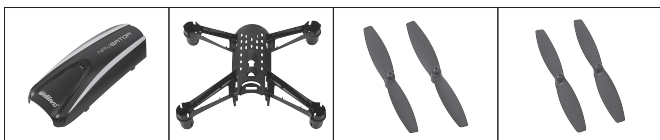


図27

# アクセサリ

ご利用いただきやすいように、アクセサリを載せてあります。お近くの販売店でご購入いただけます。

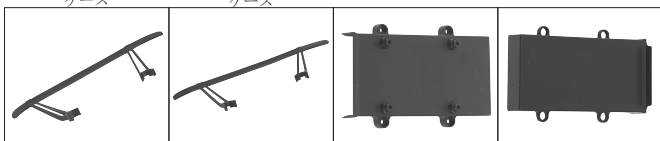


U31W-01  
ドローンカバー  
ケース

U31W-02  
ドローンボトム  
ケース

U31W-03  
Aプロペラ

U31W-04  
Bプロペラ

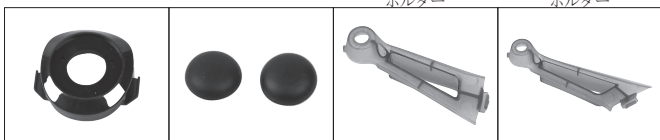


U31W-05  
左ガード

U31W-06  
右ガード

U31W-07  
バッテリー上部  
ホルダー

U31W-08  
バッテリー下部  
ホルダー



U31W-09  
カメラヘッドカバー

U31W-10  
クッション

U31W-11  
右フロントLEDフード

U31W-12  
右リアLEDフード

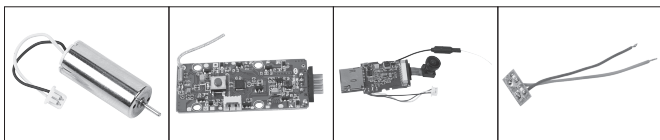


U31W-13  
左フロントLEDフード

U31W-14  
左リアLEDフード

U31W-15  
レンズ

U31W-16  
右回りモーター  
(赤・青コード)



U31W-17  
左回りモーター  
(黒・白コード)

U31W-18  
受信機ボード

U31W-19  
カメラボード

U31W-20  
フロントLEDボード (緑)

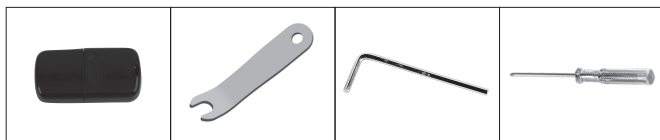


U31W-21  
リアLEDボード (赤)

U31W-22  
ドローンバッテリー

U31W-23  
USBケーブル

U31W-24  
TFカード



U31W-25  
カードリーダー

U31W-26  
レンチ

U31W-27  
六角レンチ

U31W-28  
スクリュードライバー



U31W-29  
トランスミッター

## 重要事項説明

商品は継続的に改良されるため、デザインまたは技術的なパラメータが事前の通知なく改変されることがあります。

本ユーザーマニュアルにおける全ての内容は念入りの検査を受けています。印刷または誤りに関するお問合せは、弊社が最終的な説明の権利を有保します。

お買上げおよびご信頼をいただきまして、重ねてお礼申し上げます。

# トラブルシューティングガイド

| 番号 | 問題                       | 問題の原因                           | 解決策                                       |
|----|--------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------|
| 1  | トランスミッタのインジケータライトが点かない。  | 1. バッテリーの残量がない。                 | 1. トランスミッタのバッテリーを交換する。                    |
|    |                          | 2. バッテリーのプラス極とマイナス極が逆になっている。    | 2. ユーザマニュアルどおりにバッテリーを装填する。                |
|    |                          | 3. 接触不良。                        | 3. バッテリーとバッテリースライスの間のホコリを取る。              |
| 2  | Fドローンとトランスミッタがペアリングできない。 | 1. インジケータのライトが切れている。            | 1. 上記1、2、3に同じ。                            |
|    |                          | 2. 近くに干渉信号がある。                  | 2. ドローンを再起動してトランスミッタの電源を入れる。              |
|    |                          | 3. 操作が正しくない。                    | 3. ユーザマニュアルに従ってステップごとにドローンを操作する。          |
|    |                          | 4. 頻繁なクラッシュで電子コンポーネントが損傷している。   | 4. 近くの販売店でスペアパーツを購入し、壊れたパーツと交換する。         |
| 3  | ドローンの動力が足りない、または飛行できない。  | 1. プロペラがひどく変形している。              | 1. プロペラを交換する。                             |
|    |                          | 2. バッテリー残量が少ない。                 | 2. ドローンバッテリーを充電する。                        |
|    |                          | 3. プロペラの取付が正しくない。               | 3. ユーザマニュアルに従ってプロペラを取り付ける。                |
| 4  | ドローンが浮遊せず、片方に傾く。         | 1. プロペラがひどく変形している。              | 1. プロペラを交換する。                             |
|    |                          | 2. モーターホルダーが変形している。             | 2. モーターホルダーを交換する。                         |
|    |                          | 3. 激突した後ジャイロがリセットされていない。        | 3. ドローンを平らな表面に約10秒置かず、ドローンを再起動してもう一度校正する。 |
|    |                          | 4. モーターが損傷している。                 | 4. モーターを交換する。                             |
| 5  | ドローンのインジケータライトが点かない。     | 1. バッテリー残量が少ない。                 | 1. ドローンバッテリーを充電する。                        |
|    |                          | 2. バッテリーが切れている、または過放電保護         | 2. 近くの販売店で新しいバッテリーを購入し、バッテリーを交換する。        |
|    |                          | 3. 接触不良。                        | 3. バッテリーを外し、もう一度プラグに接続する。                 |
| 6  | 写真が見られない                 | 1. カメラボックスのコードに接続していない、または接触不良。 | 1. コードを調べて、確実に接続する。                       |
|    |                          | 2. 近くに干渉信号がある。                  | 2. コードを外して、もう一度接続する。                      |
|    |                          | 3. カメラの故障。                      | 3. 近くの販売店で新しいカメラボックスを購入して交換する。            |
| 7  | 携帯電話でコントロールできない。         | 1. 経験不足。                        | 1. 練習して、携帯電話による操作ガイドを良く読む。                |

## FCC情報

この機器は試験を受け、FCC基準のパート15に従って、Class Bのデジタル端末に関する制限に準拠していることが判明しています。これらの制限は、住宅環境への設置において、有害な干渉に対する住宅環境への保護を提供するよう定められているものです。この機器は無線周波エネルギーを生成および使用し、またそれを放出すると共に、ガイドに則って組み立てられ、また使用されない場合、無線通信に有害な干渉を発生させることがあります。しかし、他の特定の環境において干渉が発生しないという保証はありません。この機器が実際に無線またはテレビの受信に有害な干渉を発生させる場合、これは機器電源のオン・オフにより判断できますが、使用者は次のうち1つまたは複数の手段を講じて干渉を取り除く努力をするよう求められます。

- 受信アンテナの方向を変える、あるいは位置を変える。
- 機器と受信機との間の距離を長くする。
- 機器を受信機とは別の回路の電源ソケットに接続する。
- ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に支援を要請する。

## FCC による警告:

この機器は無線周波エネルギーを生成または使用することがあります。この機器に対して変更または改ざんを行うと、その改ざんが説明書で明示的に認められている場合を除き、有害な干渉を発生させる場合があります。メーカーにより認められていない改ざんは、この端末を操作する使用者の権限が無効になる場合があります。

この端末はFCC基準のパート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします。

- (1) この端末は有害な干渉の原因となってはならず、さらに
- (2) この端末は、望ましくない操作の原因となり得る場合を含め、受信するいかなる干渉をも受け入れねばならない。



**MADE IN CHINA**

## 特別キャンペーン：

公式ページで「品質保証」をクリックし、ご注文の基本情報を記入して頂ければ、  
今すぐ保証期間を1年延長することができます！

udiR/Cはお客様により良い使用体験を提供するために努め続けています！

お問い合わせ：service@vipsupport.jp

品質保証ページ



[www.vipsupport.jp/warranty](http://www.vipsupport.jp/warranty)

ホームページ



[www.vipsupport.jp](http://www.vipsupport.jp)